

新しい「まちづくり」を考える

“浜町・芦崎・新川地区
住環境整備協議会を発足”

私たちの住む中島校区内海岸線部のなかでも浜町・芦崎・新川西は、市の中心部にありながら道路もなく、そのため家の建替えも思うように進まず、昔ながらの木造住宅が密集し防災面からもいくつもの問題・課題を抱えた住環境にあります。

本協議会は、そのような問題・課題を整理し、自分たちの「まち」は、住んでいる私たち地区住民の手で新しい「まちづくり」を考え地区の防災性能と生活環境の向上を図り、安全で住みよい「まちづくり」を推進することを目的に発足しました。

ただ、新しい「まちづくり」といっても、やはりこれまでつちかってきた「まち」の歴史や伝統を大事にし、人情豊かなよいところだと評価されているこの「まち」のよさを残しながらも、高齢者や子どもたち、そしてだれでもが安全で安心して歩け、生活のできる「まち」の整備が必要です。そのためには新たな道路や公園などの施設を新しく整備したり、一人一人の土地の使い方の見直しも必要となるでしょう。

また、市や関係機関と「まちづくり」に向けた勉強会の開催や打ち合わせ等が非常に重要になると考えています。

この協議会は毎月1回開催する予定ですし、このような「まちづくり」ニュースの発行も継続していきたいと考えています。

今後、地域の住民のみならずには自分たちの「まち」は、どうあるべきかを自分のこととして考えていただき地区の将来像を皆で共有し、「まちづくり」をおこなっていかなくてはなりません。

なお、裏面に協議会委員名簿を掲載し紹介いたします。

会長 岩田 次雄



(意見交換会開催のまよう)

住環境整備の早期実現に向け木下市長へ
要望書を提出

6月26日、岩田会長をはじめ各自治会の代表者8名と顧問の日名子起美郎市議の同席をいただき、地区の抱える住環境の劣悪な状況を訴えるなか住環境整備の早期実施の要望書を協議会委員一同の連名で木下敏之助市長に提出しました。

木下市長には、地区の現状と住環境整備取り組みへの必要性は充分ご理解をいただいております、「予算面と着手時期の検討をいただきたい」とのお答えをいただきました。

同時に事業手法の検討および具体化案の策定についても市関係各課と十分に協議を重ね事業推進に向け地元地区住民と連携した「まちづくり」をおこなうよう担当の都市整備課に対して指示をいただきました。

協議会としても、より多くの地区住民の方々の参画をいただき、ご意見や「まちづくり」へのご提案をお聞きし、よりよい住環境整備事業に向け取り組んでいきたいと考えています。

今後、関係者みなさまの「まちづくり」へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



(要望書の提出：市長室にて)

これまでの経緯

○平成7、8に大分市による新川地区の現況調査
同時に平成8年住宅・環境に対する評価や「まちづくり」に関する意向等のアンケート調査の実施

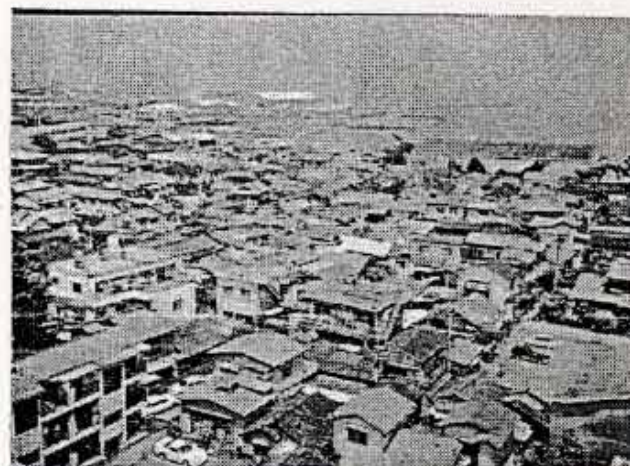
○「まちづくり」を考える取り組みの開催と主な内容
(平成11年)

4月28日
・市より当地区まちづくりのこれまでの経過説明
・まちづくりに対する地元からの要望書の提出について
・「勉強会」等の立ち上げの必要性について

6月30日
・市内での土地区画整理組合の取り組み状況について
・全国の「まちづくり協議会」の事例について
・市より地元連絡窓口設置の要請

8月26日
・「新川地区に対するアンケート調査結果」およびパンフレット(安全で安心できる新川のまちづくり)の配布、回覧について検討

10月はじめ
・10月1日号の市報と一緒に「アンケート調査結果」を各戸に配布、同時にパンフレットを地区回覧しました。



(地区の現況)

このような経緯のなか「まちづくり」の取り組みとして組織づくりと勉強会の必要性を感じ地区内6自治会より各町内独自に選出した3~4名の代表者からなる協議会を組織しました。

この協議会の取り組みとして大分市都市計画部都市整備課との共催で「まちづくり」について情報交換や勉強会等を開催する場として意見交換会の開催をしていくことを決めました。

意見交換会と協議会開催での主な内容

(平成12年)

2月28日

○第1回意見交換会の開催

今後の意見交換会の進め方について
・先進地の事例研究の学習主体を進めること
・その中で地区の住民の連携と、事業への理解を深める
・2ヶ月に1回程度の市との意見交換会の開催を決定

4月26日

○第2回意見交換会の開催

・委員会の名称決定
・市へ地区からの「まちづくり」要望書提出について
・全国他地区での先進地事例について
・地区のみなさんへのお知らせの必要性

6月2日

○第1回住環境整備協議会の開催

・協議会会則の制定
・市に対する要望書の作成
・広報委員の推薦方について
・日名子議員に顧問として協議会に参画要請の決定

編集後記

・協議会では、今後、まちづくりニュースの発行を継続していきたいと考えています。
その編集については、協議会の委員だけでなく地区の多くのみなさんに参画していただきたいと考えています。

・新しい「まちづくり」について興味のある方、こんな「まち」になればいいな・・・と日頃から考えられている方の意見や提案をお寄せいただくとともに、ニュースづくりと一緒にしていただける方を募集します。

(連絡は事務局までお願いします。)